

環境マネジメント実習 2005年度個別感想集

平成17年11月28日
神戸山手大学 担当講師 小野木正人

1. 一番印象的だったこと

- バーチャルウォーターについて。日本が間接的に水を輸入しているということ。(8)
- バーチャルウォーターの話が衝撃的だった。現実を知り、水に対する考え方を変える必要を感じた。(2)
- 内部監査の実施手順。難しかったが、どういことをやるのかがわかった。(3)
- 内部監査でもPDCAサイクルがあるのは知らなかった。
- PDCAのことを覚えようと思う。

2. 得たもの、気づき

- 今後中国が輸出国から輸入国に変わるなら、日本は今から野菜の自給率を上げてゆく努力をしなくてはならないと思った。
- 輸入に頼りすぎている日本の現実を改めて知った。(2)
- 昔から、予定や目標・計画を立てるのが嫌いなので、他人より劣っているのかもしれないと思う。
- 輸入がストップするか、お金がなくなるかすれば、日本は終わるのだと思った。
- 環境説明会があるということ。
- 監査にはたくさんプロセスがあるということ。
- 毎日当たり前のように生きているが、もっと環境のことを考えるべきだと思った。

3. その他の感想

- 日本は本当に贅沢だ。輸入にばかり頼らず、将来のことを考えて行動しなくてはならないと思った。
- 「実行したいことを言葉にする」「紙に書くと実現する」というアドバイスが身にしみた。
- これからの授業内容が難しくなりそうで少し不安を感じる。
- ゲーム付きのコピー機は、体感型にすれば運動不足解消になると思う。
- 面接は大の苦手です極度に緊張してしまうが、もう少し気を抜いても良いかもしれないと楽な気持ちになった。
- 就職関係の情報が聞けてよかった。(3)

以上